

ニセコ温泉郷国民保養温泉地計画書

令和 7 年 12 月
環境省

目次

1. 温泉地の概要	…1
2. 計画の基本方針	…2
3. 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	…2
4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画 又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	…3
5. 温泉資源の保護に関する取組方針	…4
6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	…6
7. 温泉地の特性を生かした温泉の公共的利用増進に関する方策	…7
8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	…9
9. 災害防止対策にかかる計画及び措置	…10
添付	
1. 国民保養温泉地位置図	…11
2. 国民保養温泉地区域図	…12

1. 温泉地の概要

ニセコ温泉郷は北海道の西部、ニセコ積丹小樽海岸国定公園内にあり、ニセコ町と蘭越町にまたがる地域に位置する。ここは日本海から連なるニセコ連山、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山といった美しい山々に囲まれた農山村である。地域の中央には清流日本一の尻別川が流れており、豊富な水と寒暖差の大きい内陸性気候の特性をいかし、米やジャガイモなどの農産物を生産している。また、ニセコ温泉郷を含むニセコエリアは国内外から観光客が集まる道内有数の観光地であり、特に近年は、倶知安町比羅夫地区を中心として外国人観光客の増加が顕著である。ニセコ温泉郷を形成するアンヌプリ温泉地区や昆布温泉地区についても、外国人観光客に人気となっているが、国定公園として古くからの温泉宿・ペンションが多く残る地域であり、開発が活発な比羅夫地区に比して、ゆっくりと日本らしさを感じながら過ごせる癒しのリゾートエリアとなっている。



図 1 ニセコ連山

ニセコ温泉郷は、ニセコ連山の中腹に点在しており、その歴史は明治以前から始まった硫黄鉱山の開発に遡る。当時はたくさんの鉱業所でにぎわっており、明治37年に鉄道が開通すると更に人の往来が増え、同時に温泉開発も進んだ。ニセコ温泉郷の特徴は泉質が多様なことで、昆布、湯本、五色、新見、アンヌプリの5地区に分かれている。

昆布地区は、ニセコアンヌプリ川沿いに発達した温泉地で、5地区の中で最も施設集積度が高い地区である。旅館1軒、ホテル4軒がニセコモイワスキーリゾートに隣接している。近年リゾート開発が進んでおり更なる成長が期待されている。なお、泉源は各施設が保有しており、それぞれの泉質を楽しめる。

湯本地区は、昆布地区の北方約4kmのチセヌプリの南麓に位置し、山スキーやキャンプの拠点となっている。地区内は高温のガスにより温められた湖水が大きな湯沼を形成しており、湖面に浮いている黄色球状硫黄は学術的に貴重なものとされている。ここには蘭越町営の日帰り温泉が1施設営業しており、チセヌプリスキー場と湯本温泉野営場が隣接している。

五色地区は湯本地区の東方約4km、ニセコアンヌプリの西麓に位置し、ニセコ連山を登山する人たちの拠点となっている。旅館2軒が営業（内1施設休業中）しており、ニセコ野営場、ニセコ町五色温泉インフォメーションセンターが隣接している。

新見地区は湯本地区の西方約4.5km、蘭越町の北方約8kmに位置する湯治場である。旅館が2施設あるが、現在2施設とも休業している。

アンヌプリ地区は、ニセコアンヌプリの南麓、ニセコアンヌプリ国際スキー場の麓に位置し、ホテル2軒がスキー場に隣接している。付近にペンション群も形成され、登山や熱気球体験や夏のゴンドラ利用など冬に限らず通年で観光客の多い地区となっている。道道66号線沿いの1施設では飲泉が可能となっている。



図 2 五色温泉旅館

2. 計画の基本方針

ニセコ温泉郷は、それぞれの地区の特性や魅力をいかした運営が行われてきており、名湯百選にも名を連ねるなど、観光や湯治を目的とした利用者が多数訪れている。また、道内では珍しく長い歴史を有する温泉地であり、多くの地域が国定公園に指定され、豊かな自然と共存してきた。今後もこれらの取組を大切しながら、利用者の保養に努めるとともに、海外観光客を含め様々な人と交流できる温泉地を目指す。

- ①ニセコ温泉の豊かな自然環境、地域資源を活用する。
- ②施設の整備は安全性、利便性に配慮し、自然や景観と調和を図る。
- ③ニセコ温泉の歴史や文化、風土を継承していく。
- ④各観光協会を中心に関係各所と連携を図り、様々な人が利用し交流できる温泉地づくりに取り組む。

3. 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

ニセコ温泉郷はニセコ積丹小樽海岸国定公園内にあり、国内有数の豪雪地帯である。冬になるとシベリア方面から西向きの季節風が吹き、日本海で水分を蓄えた空気は、ニセコ連山を駆け上がることで凝結し、浮遊感の高い独特のパウダースノーを形成する。東方に位置する羊蹄山がその雲を引き留め、毎日のように雪を降らせるため年間降雪量は平地で約10mにおよぶ。また、ニセコアンヌプリは標高が1,308mと、北米やヨーロッパのスキーリゾートのように標高が高くはないにもかかわらず良質な雪が毎日のように降ることから、「奇跡の場所」とも呼ばれる。

また、札幌市からは車で2時間程度の距離にあり、道南エリアを結ぶ交通路が別にあるため、車の通行量はさほど多くはなく、夏季にはサイクリングやランニング、ウォーキングを楽しむ人が増えている。また、ニセコ連山では登山やトレッキング、麓を流れる清流日本一の尻別川ではラフティングやカヌーを楽しむ人も多い。この川には鮎やヤマメ、イワナ、ヤツメウナギのほか、幻の魚イトウが生息しており、太公望の聖地にもなっている。



また、清廉で豊富な水、平穏な海洋性気候から寒暖差の大きい内陸性気候が同居する地域特性を生かして、質の高い多品目の農産物を生産する道内有数の農業生産地でもある。特に「ゆめぴりか」を主体とする蘭越米、ニセコ山系のジャガイモは品質が高く、地域の重要産品となっている。

当地域の自然環境は大変厳しいものであるが、住民生活のみならず、観光客にとっても貴重な資源である。豪雪地帯でもある当地域は、北陸や東北地域とは異なる雪文化を育み、地域を形成してきた。その中で、環境基本条例、水道

資源保護条例、地下水保全条例、景観条例などを制定し、将来に貴重な環境を引き継いでいけるよう取り組んでいる。

（２）取組の現状

ニセコ温泉郷は昭和３３年に国民保養温泉地の指定を受け、観光、湯治、登山、スキー等での利用に供される施設づくりがなされてきた。時代とともに利用者の目的は変化していき、多くの施設では団体旅行の減少から個人向けの施設へと改修が進んでいる。また、外国人観光客の増加や家庭風呂の増加から、入浴マナー等の公衆浴場文化についての告知などにも力を入れ、多くの人が快適に利用できるよう取り組んでいる。

（３）今後の取組方策

ニセコ温泉においては更に自然環境、地域、歴史、風土及び文化等の維持保全を図るため、国や北海道等の関係機関と調整の上（２）の取組を継続するとともに、住民はもとより国内外からの観光客が訪れ、利用者の健康増進に寄与できる観光地を目指す。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同

医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

（１）医師又は人材の配置の状況

ニセコ温泉郷では、医学的立場から適切な温泉利用や健康管理について指導を行う医師又は同医師との連携の下入浴方法等の指導を行う人材を配置しており、その名称及び活動の状況等は、以下のとおりである。

①医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
蘭越診療所 太田圭一	内科医 温泉療法医 温泉ソムリエ	医療施設において、随時、温泉療養相談を実施	令和５年度～

②人材

資格	人数	活動内容	配置年度
温泉ソムリエ	５	各地において健康増進のための温泉利用を安全かつ適切に行えるよう講習等を開催	平成２９年度～

（２）配置計画又は育成方針等

ニセコ温泉では、医師及び人材の配置を継続するとともに、関係各所と連携して対応者の育成、補強等に努める。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

各地区の温泉資源の状況は、以下のとおりである。

地区	源泉	温度 (℃)	湧出量 (1/min)	泉質	湧出 状況	所有 者	利用施設
昆 布	ニセコ昆布温泉（1号井・2号井の混合）	52.3	1号井：50 2号井：40	含硫黄－ナトリウム・カルシウム・塩化物	動力揚々	民間	ホテル1施設（空の抄）
	ニセコ昆布温泉（甘露の湯2号井）	50.6	200	含硫黄－ナトリウム・カルシウム・塩化物	自噴	民間	ホテル1施設（甘露の森）
	1号井	48.9	330	ナトリウム－塩化物泉	動力揚々	民間	ホテル1施設（ニセコグランドホテル）
	ニセコグランドホテル3号井	67.2	190	ナトリウム－塩化物－炭酸水素温泉	動力揚々	民間	ホテル1施設（ニセコグランドホテル）
	ニセコ昆布温泉（新泉）	65.8	185	ナトリウム－塩化物・炭酸水素	動力揚々	民間	日帰り入浴1軒（鯉川温泉、休業中）
	ニセコモイワ山温泉（和みの湯）	52.8	測定不能	含硫黄－ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩温泉	動力揚々	民間	ホテル1施設（ワニセコ）
湯 本	湯本温泉（雪秩父（硫黄泉））	56.8	-	単純硫黄泉	自然湧出	町営	日帰り入浴1件（雪秩父）
五 色	五色の湯温泉（ニセコ山の家）	61.5	100	酸性・含硫黄－マグネシウム・ナトリウム－硫酸塩	自然湧出	民間	旅館1施設（ニセコ山の家、休業中）
	ニセコ五色温泉（五色温泉）	76.1	-	酸性・含硫黄－マグネシウム・ナトリウム－硫酸塩	自然湧出	民間	旅館1施設（五色温泉旅館）
	五色温泉（花畑温泉）	52.5	-	酸性・含硫黄－マグネシウム・ナトリウム－硫酸塩・塩化物温泉	混合	民間	旅館1施設（五色温泉旅館）
新 見	ニセコ新見温泉（1号井）	64.4	200	カルシウム・ナトリウム－硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館2施設（新見本館、新見温泉ホテル、2施設とも休業中）
	ニセコ新見温泉（2号井）	65.1	100	カルシウム・ナトリウム－硫酸塩泉	自然湧出	民間	

アンヌプリ	ニセコアンヌプリ温泉	49.2	220	ナトリウム－炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物温泉	動力 揚々	民間	ホテル1施設（湯心亭）
	SPA NISEKO ニセコ温泉	52.1	-	ナトリウム-塩化物・硫酸塩温泉	動力 揚々	民間	ホテル1施設（ノーザンリゾート）
	ニセコ町温泉	58.9	200	ナトリウム－炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物温泉	動力 揚々	民間	ホテル1施設（いろは）

（２）取組の現状

ニセコ温泉の各源泉の取組状況は、以下のとおりである。

地区	源泉	取組	実施主体	実施年度
昆布	ニセコ昆布温泉（1号井・2号井の混合）	毎朝、湧出量の確認をしている。	源泉所有者	平成25年度～
	ニセコ昆布温泉（甘露の湯2号井）	毎日温泉の温度、源泉流量の検診確認。7時、13時、21時、24時に行っている。	源泉所有者	平成15年度～
	1号井	毎日の温度観測	源泉所有者	昭和26年度～
	ニセコグランドホテル3号井			
	ニセコモイワ山温泉（和みの湯）	毎日塩素残量確認及び補給、受水槽及び温泉槽の貯水量確認、大浴場の清掃、空調・衛生設備の確認	源泉所有者	平成24年度～
湯本	湯本温泉（雪秩父（硫黄泉））	定期的な源泉管理と浴槽等の清掃、毎朝浴槽等の清掃、毎日の温度観測	源泉所有者	平成27年度～
五色	五色の湯温泉（ニセコ山の家）	定期的な源泉管理と搬送パイプ点検及び清掃	源泉所有者	昭和29年度～
アンヌプリ	ニセコアンヌプリ温泉	毎日の温度計測、適宜湧出量の確認、定期的な清掃	源泉所有者	平成17年度～
	SPA NISEKO ニセコ温泉	毎日の清掃、定期的な源泉管理	源泉所有者	昭和60年度～
	ニセコ町温泉	定期的な源泉管理、毎朝浴槽等の清掃、毎日の温度観測	源泉所有者	平成14年度～

（３）今後の取組方策

ニセコ温泉の各源泉において、（２）の取組を継続するとともに、環境負荷軽減や利用環境の向上などの視点も踏まえた必要な設備等の更新を行い、安定的な温泉の利用を図る。

地区	源泉	取組	実施主体	実施予定年度
全地区	全源泉	排湯利用（熱利用）による省エネ対策など	源泉所有者・ニセコ町	令和7年度～

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

ニセコ温泉において、温泉利用のための設備及び温泉利用施設数は、以下のとおりである。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
昆布	6	引湯管、貯湯槽	5 施設（内 1 施設休業中）
湯本	1		1 施設
五色	2		2 施設（内 1 施設休業中）
新見	2	引湯管	2 施設とも休業中
アンヌプリ	3	引湯管、貯湯槽	3 施設

(2) 取組の現状

ニセコ温泉において、温泉利用のための設備に係る衛生面の取り組み状況は以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	源泉に薬剤。年 1 回レジオネラ菌検査	源泉所有者
引湯管	自主的	バルブ・ドレン等の点検を不定期に実施。	施設所有者
貯湯槽	自主的	月 1 で源泉タンクの確認。年 2 回の源泉タンクの清掃消毒。ホテル内のタンクも年 2 回の清掃消毒。温泉集約枡の清掃と蓋の点検	施設所有者
浴槽	自主的	浴槽関係は 2 ヶ月ごとに清掃及び消毒。清掃は毎日実施	施設所有者
飲泉施設	自主的	定期的な水質検査、清掃を実施	施設所有者
設備周辺	自主的	状況を確認し、清掃を実施	施設所有者

(3) 今後の取組方策

温泉を衛生的に良好に保つため、(2) の取組を継続するとともに、設備周辺について以下の取組を進める。

設備	区分	取り組み	実施主体
設備周辺	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードヒーティングに熱源取り込み ・排雪熱を利用し給水温度の上昇を図ることで給湯用ボイラ一稼働の短縮による燃料削減 	施設所有者

7. 温泉地の特性を生かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

ニセコ温泉は、地域が開墾、開発された明治時代から利用されてきており、地域の発展とともに現在に至る。その間、主な利用が湯治から観光（レジャー）に姿を変えているが、地域における重要コンテンツであることに変わりはない。特に近年は外国人観光客が増加しており、温泉に対するニーズはますます増加している。

①過去3年間の温泉利用者数

(単位：人)

年度	宿泊人数	日帰り人数	合計
令和4年度	180,141	117,965	298,106
令和5年度	200,227	115,646	315,873
令和6年度	177,919	105,259	283,178

②直近1年間（令和6年度）の温泉の利用者数

(単位：施設、人)

温泉地	区分	施設数	総定員	利用者数				
				4月	5月	6月	7月	8月
ニセコ温泉郷	宿泊	8	1,917	6,041	7,927	8,461	12,622	16,251
	日帰り	7	-	4,769	5,551	5,773	6,294	8,656
	合計	-	-	10,810	13,478	14,234	18,916	24,907
	区分	利用者数						
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	宿泊	11,598	13,481	7,125	21,140	29,208	25,255	18,810
	日帰り	7,476	7,324	4,777	9,924	19,101	17,311	8,303
	合計	19,074	20,805	11,902	31,064	48,309	42,566	27,113

(2) 取組の現状

ニセコ温泉では温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおり。

温泉地	取組み	実施主体
全地区	湯めぐりパスを作成し、湯めぐり周遊を促進、また昆布地区では鳥瞰図の管理などを実施	(株)ニセコリゾート観光協会
昆布、湯本、五色	秋から冬にかけて観光客の誘客を目的にらんこし湯めぐりスタンプラリーを開催	蘭越町観光協会

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉において、更に温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、環境の保全や文化伝承に配慮した取組を継続する。また、町民を含む様々な利用者の健康増進と、外国人を含め観光客などとの交流を促進する。ニセコ積丹小樽海岸国定公園内に位置する温泉もあり、トレッキングでかいた汗を流したり、温泉に浸かりながら豊かな自然を楽しんだり、アクティビティとの親和性が高いため、利用促進に取り組む。

温泉地	取組	実施主体
全地区	温泉ソムリエの活動と連携し、正しい入浴方法や温泉の楽しみ方（一部施設では飲泉可能）をわかりやすく伝え、利用者の保養を推進する	各施設、ニセコ温泉部
	ウォーキングや食と連携し、温泉と地域文化を楽しむイベント等を開催。新たな温泉の楽しみ方を提供する	各施設、(株)ニセコリゾート観光協会
	温泉の魅力を伝える専用ページを立ち上げ、SNS・インフルエンサーの活用、湯めぐりパスを使ったキャンペーンなど、効果的な情報発信を行う	(株)ニセコリゾート観光協会、ニセコ町
	多言語案内標記等の環境整備やマナー啓発を行い、外国人利用者も含め、誰もがストレスなく温泉を楽しみ、保養できる環境整備を進める	各施設、(株)ニセコリゾート観光協会、ニセコ町
	地域住民の利用促進や心身の健康増進に向け、利用料住民割引や温泉地を回るバス運行などの取組を進め、地域に愛される温泉地づくりを進める	各施設、(株)ニセコリゾート観光協会、ニセコ町

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) ニセコ温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
昆布	公有施設	・道路（道道66号線、町道） ・遊歩道、鳥瞰図 ・昆布簡易郵便局
	私有施設	・宿泊施設（5施設、内1施設休業中）、スキー場（1施設） ・公園（湧水口）
湯本	公有施設	・道路（道道66号線、町道） ・日帰り温泉施設（1施設）、キャンプ場（1施設）
	私有施設	・スキー場（1施設）
五色	公有施設	・道路（道道58号線） ・インフォメーションセンター（1施設）、キャンプ場（1施設）
	私有施設	・宿泊施設（2施設、内1施設休業中）
新見	公有施設	・道路（道道268号線）
	私有施設	・宿泊施設（2施設、内2施設休業中）
アンヌプリ	公有施設	・道路（道道66号線、町道）、森林公園、公共トイレ
	私有施設	・宿泊施設（3施設）、スキー場（1施設）、飲泉施設

(2) ニセコ温泉における高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組み	実施主体
全地区	公有施設	道路	補修及び保守管理	道、町
		建築物		
	私有施設	建築物	表示の拡充、段差の解消	施設所有者

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉において、更に高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、次の取組を進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
全地区	公有施設	道路	補修及び保守管理	道、町
		建築物		
	私有施設	建築物	表示の拡充、段差の解消	施設所有者

9. 災害防止対策にかかる計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

ニセコ温泉の各地区の施設周辺には大きな河川や急傾斜地指定場所等がなく、広域地域全体で被災した台風による風害などのほかに災害は発生していない。

(2) 計画及び措置の現状

ニセコ温泉の各地において現在災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は以下のとおりである。

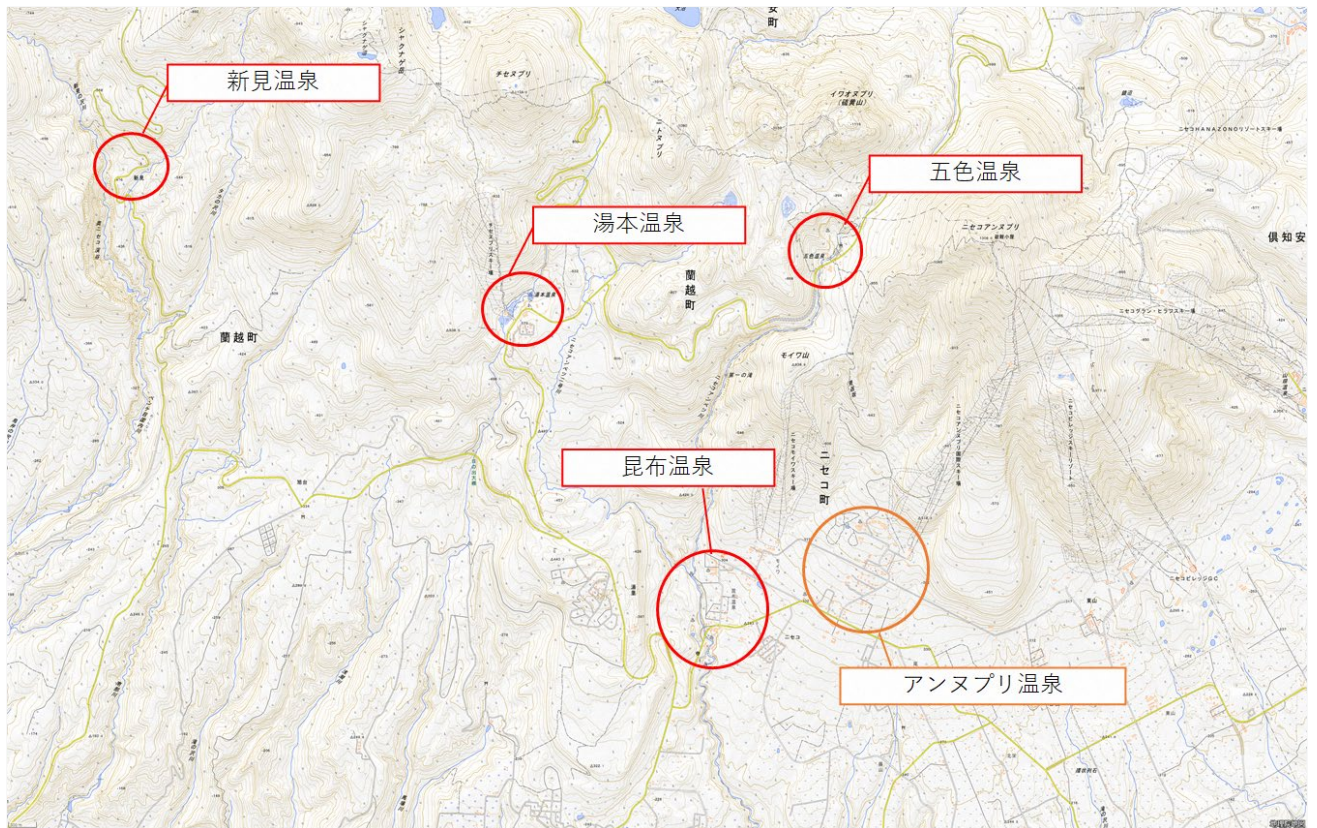
温泉地	計画又は措置	内容
全地区	ニセコ町地域防災計画 (平成23年度策定) 蘭越町地域防災計画(昭和35年度策定)	温泉地内において各町の防災計画に基づき防災対策を推進する。 ・防災ラジオや防災無線通信により緊急時情報伝達を自動化 ・ニセコモイワスキーリゾート/ニセコアンヌプリ国際スキー場の駐車場を災害時一時指定緊急避難場所に指定

(3) 今後の取組方策

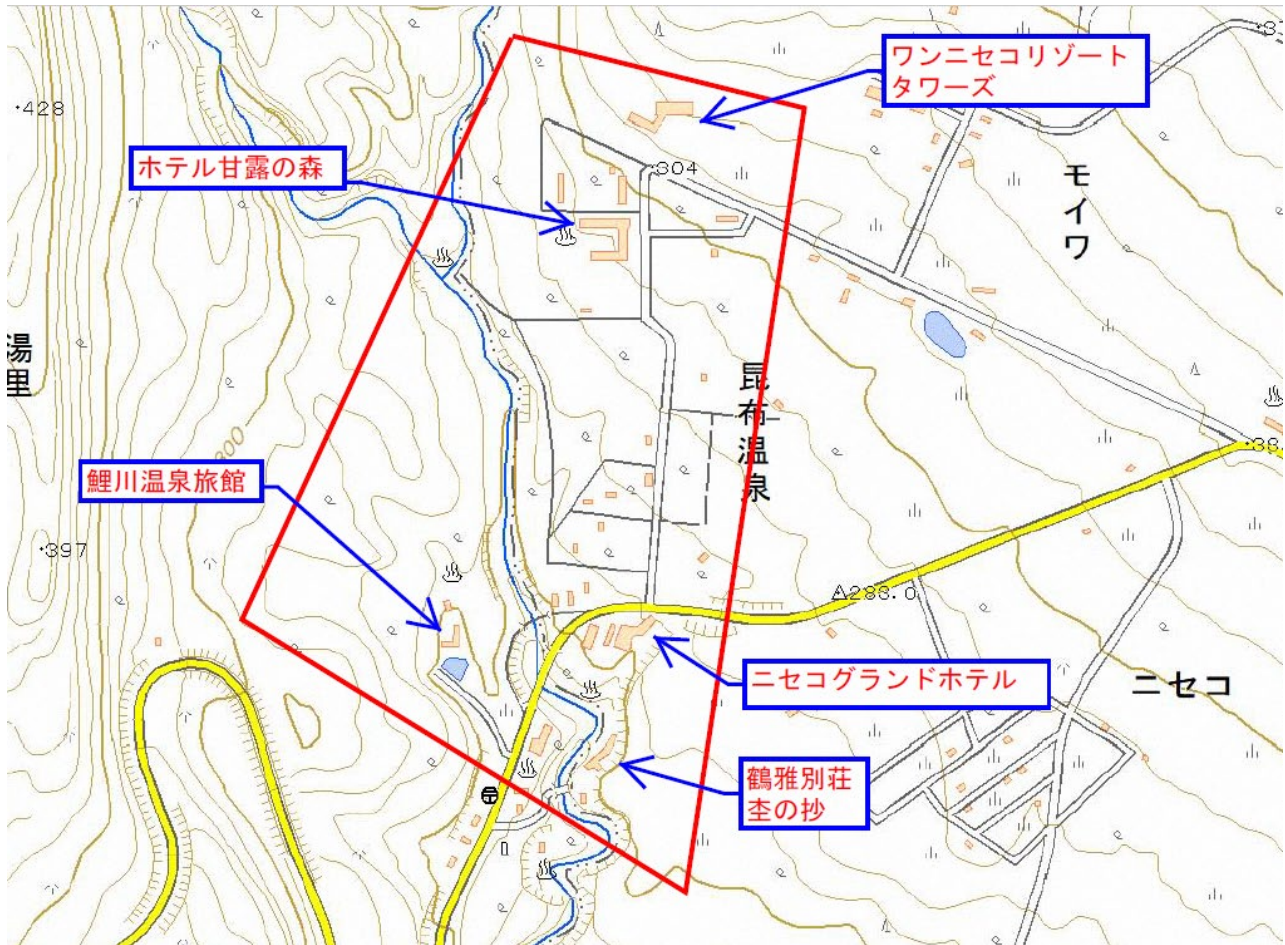
ニセコ温泉において、更に災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

温泉地	取組	実施主体
全地区	宿泊観光客についての災害時避難等について、計画策定を予定	ニセコ町 蘭越町

国民保養温泉位置図 S=1:50,000

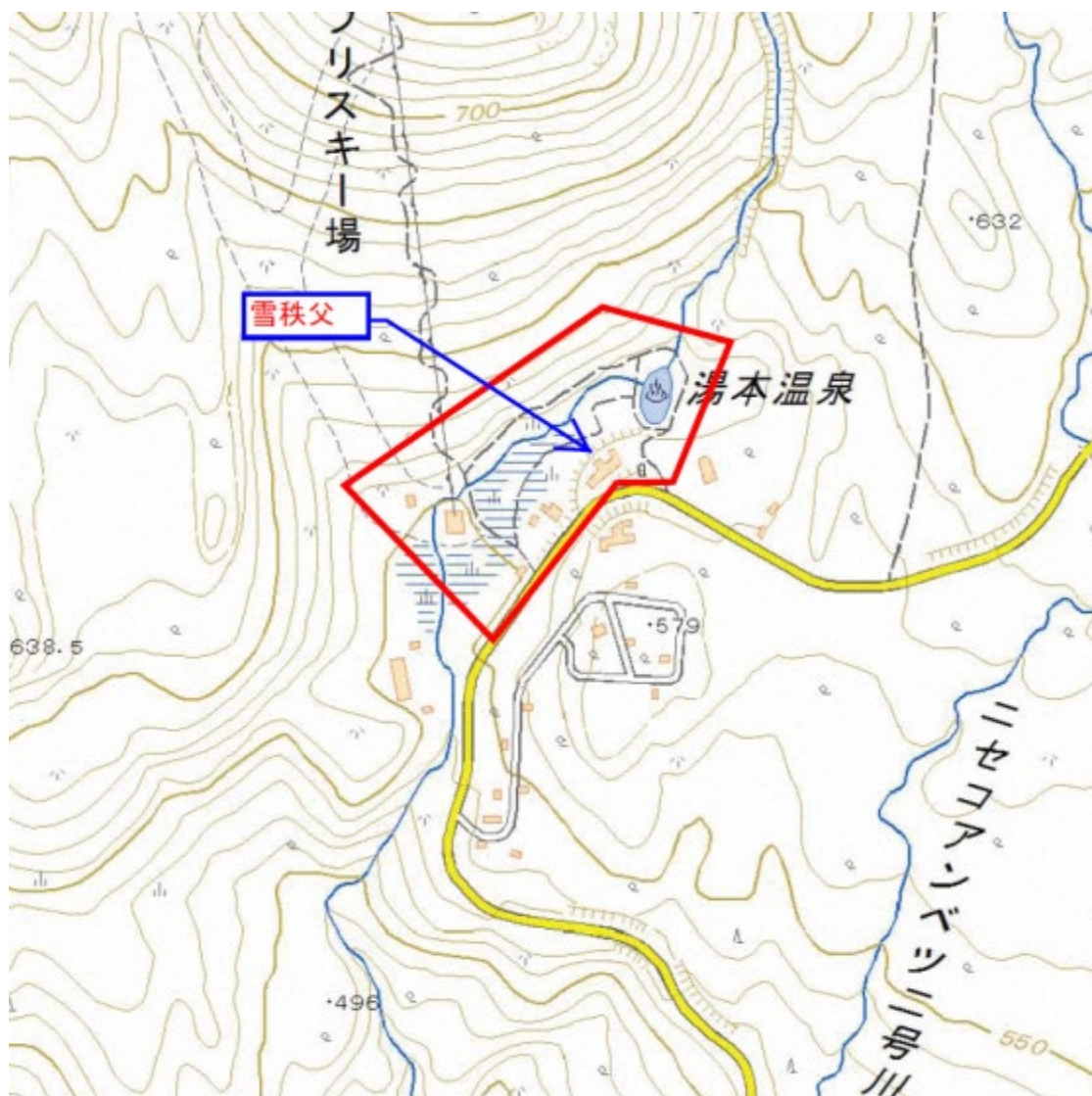


昆布温泉 区域図



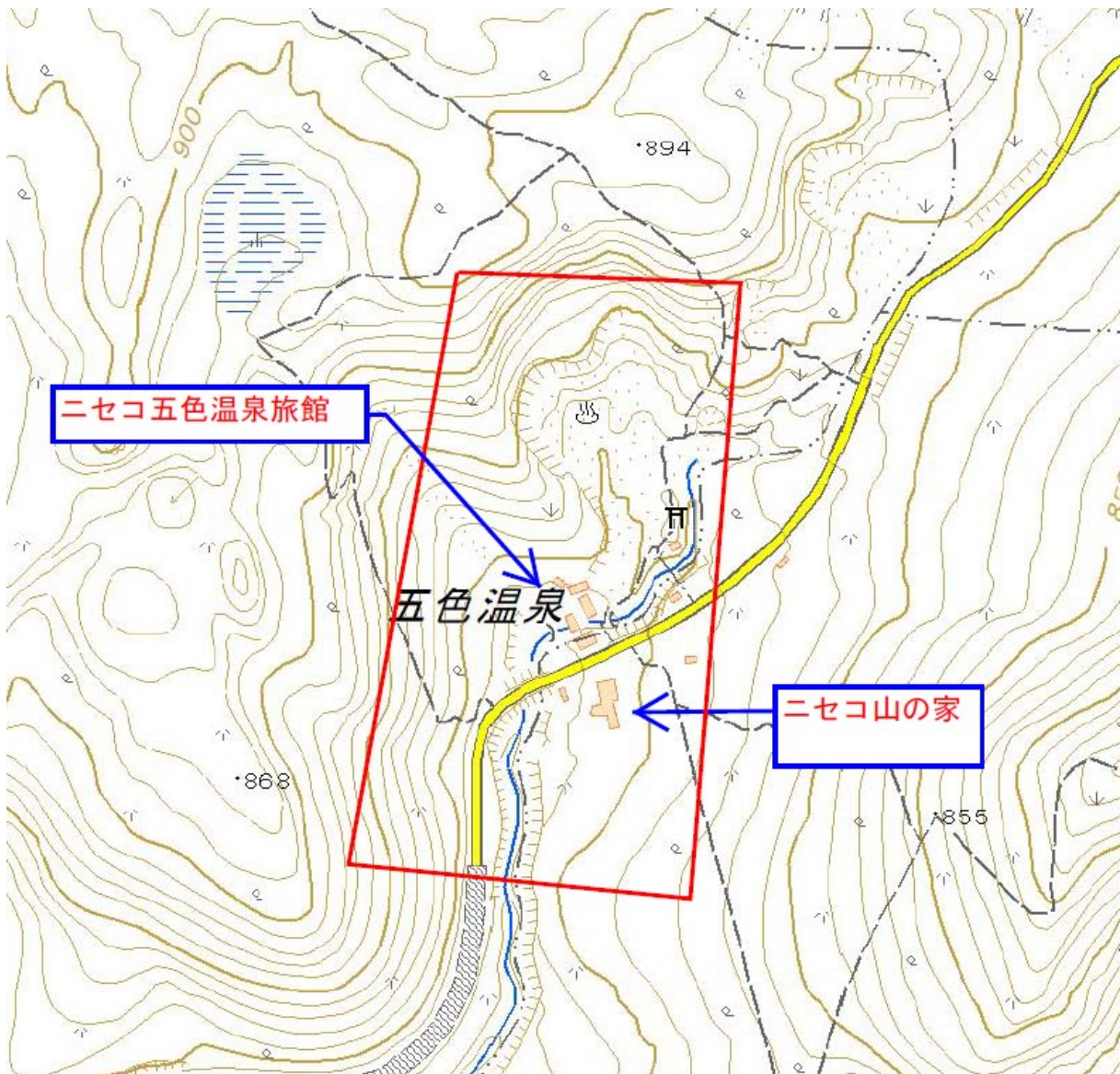
国土地理院地図より複製したものに注釈追加

湯本温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加

五色温泉 区域図



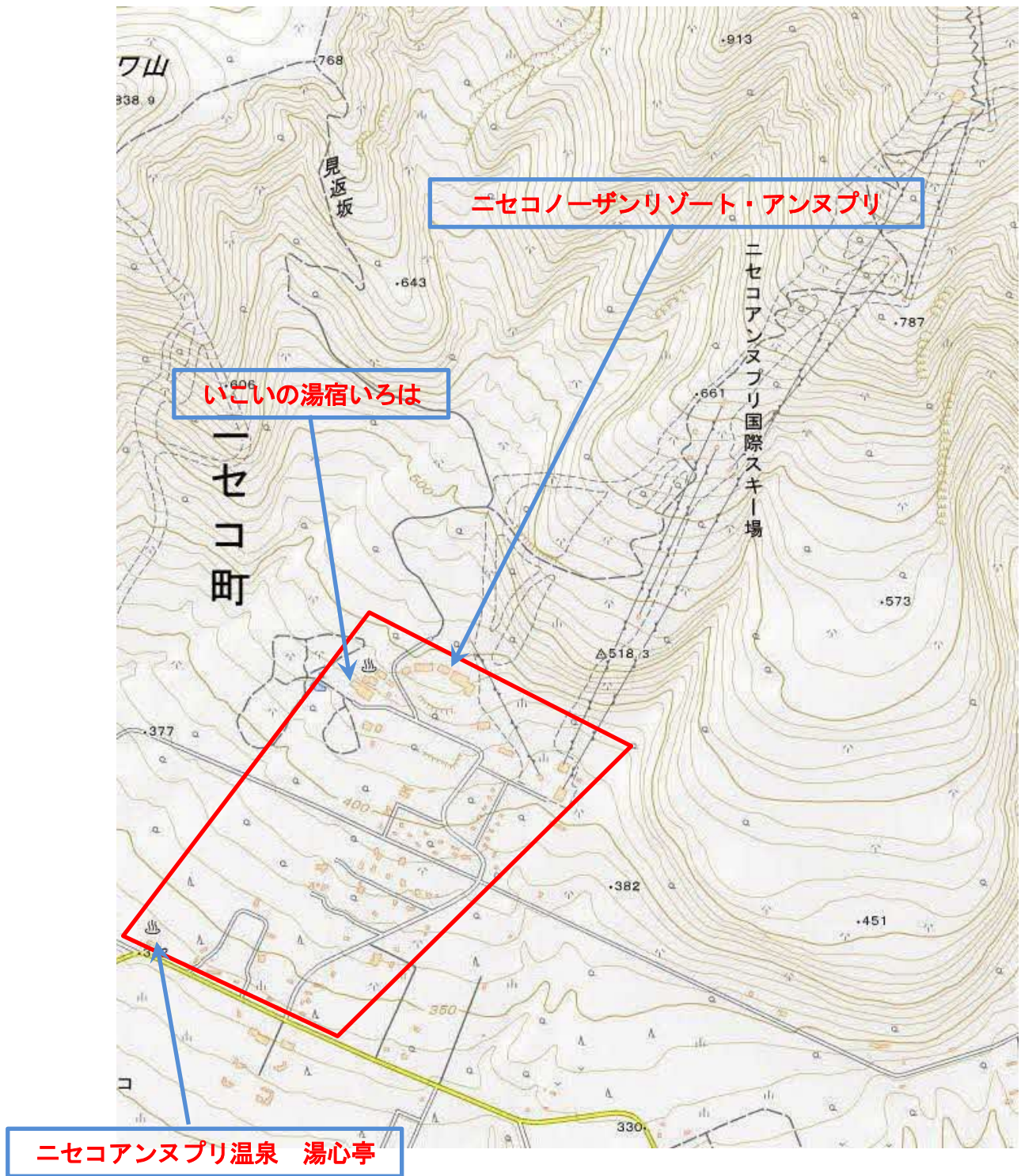
国土地理院地図より複製したものに注釈追加

新見温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加

アンヌプリ温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加